

学校の教育目標: やさしく、かしこく、たくましく 夢の実現へ成長する子どもの育成

学校の教育目標 実現のための 喫緊の課題を 踏まえた 重点目標	重点目標に係る 目指すべき子どもの 姿となる 達成指標	達成指標を達成する または近づくための 重点的取組 ※到達像不要	重点的取組に係る 具体的な 取組指標 ※誰が、何を、どれくらいの頻度で	担当	検証・改善				
					取組指標に対する 取組状況の確認		達成指標に対する 達成状況の確認		改善方策
					SAB 評価	取組状況(エビデンス)	SAB 評価	達成状況(エビデンス)	
豊かな心の育成 やさしく	○「進んで誰にでも気持ちのよい挨拶ができた」と答える1～9年生が90%以上にする。 ○「学校が楽しい」と答える1～9年生が90%以上にする。	学校 ○あいさつの徹底、規範意識を育成する。 ○「居場所」と「絆」づくりの取組を行う。 ○小中一貫教育の推進に努める。 家庭 ○「生活5原則中(あいさつ、整理整頓、時間厳守)」の習慣をつける。 地域 ○挨拶から、地域の一員であるという意識を育てる。	○週に1回以上、児童生徒が行った挨拶や規範意識のある姿を紹介し、よさを話す。→継続	生野・北崎	A	全学年、朝の会や帰りの会などを活用し100%実施できた。	A ○進んで誰にでも気持ちのよい挨拶ができた 1～9年生 88% 達成率88/90≒98% ○学校が楽しい 1～9年生 86% 達成率86/90≒96% 合計達成率98+96/2≒97%	○「→継続」については、企画会や学年会で取組状況を話題にし、好事例を共有し合う。 ○今年度は縦割り班活動が難しいので、来年度以降に向けて、専門委員会や前期委員会の活動を充実させ、全学年で取り組む。その中で、上級生と下級生が相互に質問したりアドバイスをしたりして、思いを伝え合う場を設定する。 ○低学年には、今年度は、児童生徒会活動の主な活動やめあてを意識させる。 ○定期集会を設定し、縦の繋がりを意識させる。	
			○週に1回以上、児童生徒が行った優しい言葉かけや行動を紹介し、よさを話す。→継続		A	全学年、朝の会や帰りの会などを活用し100%実施できた。			
			○毎月児童生徒会活動、行事、縦割り班活動の計画的な取組を行う。毎月の児童生徒会活動の、縦の繋がりを意識した取組を行う。		B	毎月の児童生徒会活動は100%実施できたが、行事や縦割り班活動については、コロナの影響で実施できなかった。			
			○毎日、よさや努力を認める肯定的な声かけや、気持ちのよい挨拶を行う。		A	学校評価票(保護者対象)の「子どもは、進んで気持ちのよい挨拶ができた」の項目に肯定的評価は85%であった。			
確かな学力の育成 かしこく	○単元テスト(国、算、理)で1～6年生は、80点以上を75%以上、60点未満を5%以下にする。 定期テストで7～9年生は、60点以上を60%以上、40点未満を10%以下にする。 ○「授業が楽しい、よくわかった」と答える1～9年生が90%以上にする。	学校 ○新大分スタンダードを意識した授業を実施する。 ○小テスト等の実施により、学習の定着を図る。 家庭 ○「学習5原則中(忘れ物ゼロ、きちんと家庭学習)」の習慣をつける。 地域 ○授業参観、ボランティアとして協力する。	○日常授業で、「振り返り」を活用する。→継続 ○月に1回授業セルフチェックシートを活用する。→継続	平野・右田	A	「振り返り」の活用は83%、セルフチェックシートの活用は100%実施できた。	1～6年生 S 7～9年生 S ○単元テスト1～6年生 80点以上 77% 達成率77/75≒103% 60点未満 4% 達成率5/4≒125% 定期テスト7～9年生 60点以上 75% 達成率75/60≒125% ※今回は単元テスト 40点未満 11% 達成率10/11≒91% ○授業が楽しい、よくわかる 1～6年生 88% 7～9年生 81% 1～6達成率88/90≒98% 7～9達成率81/90≒90% 合計達成率 1～6年生103+125+98/3≒109% 7～9年生125+91+90/3≒102%	○学年会や研修の教科部会で、学年や教科の特性に応じた「振り返り」のさせ方や活用の仕方について情報交換し、工夫を考えていく。 ○ノートやワークシート、付箋やタブレット等を活用し、書く活動を取り入れることによって、自分の考えをまとめ、友だちと意見交流する対話へとつなげる取組を工夫する。 ○小テストについては、生徒の実態から、基礎基本を押さえる内容や苦手を克服するための出題にするなどの見直しをしながら、40点未満の生徒の底上げを図る。	
			○単元に1回以上、その時間につけたい力に迫る「対話」を位置付けた授業を行う。→継続		B	コロナの影響で、対話活動が制限される状況で、71%の実施であった。			
			○7～9年生では、小テストを単元に2回以上設定し、やり直しをいねいに行う。→継続 ○1～6年生では、小テストを単元に1回以上設定し、やり直しをいねいに行う。→継続		A	7～9年生では、100%実施 1～6年生では、91%実施であった。			
			○1～6年生、毎日、宿題やノート、連絡帳に目を通す。 ○7～9年生、定期考査の計画表や成績カードに目を通す。		A	取組指標と同文の学校評価票(保護者対象)の項目に肯定的評価は89%であった。			
健やかな体の育成 たくましく	○「運動が好き」と答える1～4年生が90%以上、5～9年生が85%以上にする。 ○「早寝・早起きを意識して、規則正しい生活を心がけた」と答える1～9年生が85%以上にする。	学校 ○一校一実践による体カアップを図る。 ○生活習慣の改善と意識の高揚を図る。 家庭 ○早寝・早起きを意識させることから、生活習慣を改善する。 地域 ○自力登校する子どもを応援する。	○体育の授業で、「賀来っ子体操」を行う。更に、体力調査に基づいた補強運動や体づくり運動を週1回以上実施する。→継続	油布・江藤	A	全学年、体育授業で毎時間、「賀来っ子体操」と補強運動(からだづくり運動)を行った。100%実施できた。	A ○運動が好き 1～4年生 86% 達成率86/90≒96% 5～9年生 81% 達成率81/85≒95% ○早寝早起きを意識して、規則正しい生活を心がけた 1～9年生 80% 達成率80/85≒94% 合計達成率96+95+94/3≒95%	○賀来っ子体操は、1、2年生では正確に出来ていない児童がいるので、8、9年生が縦割りで教えるなどして習熟を深める取組を行う。 ○2学期以降は、スポーツチャレンジの日程表カレンダーを作成し、計画的に実施する。 ○就寝時間を1,2年は21時半、3,4年は22時、5,6,7年は22時半、8,9年は23時を目安として児童生徒や保護者へ呼びかけ、生活習慣の改善をはかる。 ○引き続き、学級懇談会で生活習慣(睡眠・食事。ゲームやスマホ等)で気になっていることや早寝・早起きをさせるための工夫などを話題にしている。	
			○月1回以上、「スポーツチャレンジ」を実施する。→継続		B	一学期は、コロナ対策と熱中症対策を優先し、計画的に実施することは出来なかった。1～4年生には外遊び用のボールと縄跳び、5～9年生にはボールを配るにとどまった。			
			○目安となる就寝時間や良い時間の使い方などを示すなどして、毎日、早寝・早起きのことを話題にする。		A	1～4年生は、ほぼ毎日、朝や帰りの会で話題にしている。5～9年生では、委員会や振り返りシートを活用しチェックを行っている。また7～9年生は毎日ノートの生活時間管理の中で、早寝早起きと合わせてコメントしている。			
			○月1回以上、通信(学年・学級・保健だより)等を活用して、保護者の啓発を行う。→継続		A	「学年・学級通信」や「保健だより」を活用し、児童生徒や保護者に対し朝食摂取の重要性などを伝えることが出来た。また1学期末懇談会で「生活習慣」と「早寝・早起き」について意見交換した。			
			○就寝前にゲームやSNSを利用しないよう、毎日、声かけを行う。家庭でゲームやメディアを扱うルールを決めている。	A	取組指標と同文の学校評価票(保護者対象)の項目に肯定的評価は81%であった。				
			○自力登校の子どもをしっかりと励ます。						

